

倉敷看護専門学校 自己点検・自己評価結果

専修学校における学校自己評価については、平成19年の学校教育法改正により、自己評価の実施・公表が義務化、学校関係者評価の実施・公表が努力義務化されました。また、平成23年3月、厚生労働省の「看護師等養成所の運営に関する指導要領」の改正により、養成所は教育活動その他の養成所運営の状況について、自ら評価を行い、その結果を公表することとなりました。

本校においては平成23年から学校自己評価委員会を立ち上げ、自己点検・自己評価を体系化し検討してきました。本校が実施している教育や運営状況を年度毎に振り返り、質の向上に向けて取り組むことが必要であると考えています。

1 自己評価結果

評価は、「看護師等養成所の教育活動等に関する自己評価指針作成検討会」の看護師等養成所の自己点検・自己評価指針をもとに作成しています。

平成29年度は昨年同様ⅠからⅧのカテゴリーに分類した45項目について評価を行いました。評価尺度は「よい：5点」～「不十分：1点」までの5段階とし、評価点をつけています。評価点をつける際、評価項目の評価の視点に基づき普通レベルの項目ができていれば3点、加点項目ができていれば4点以上としています。

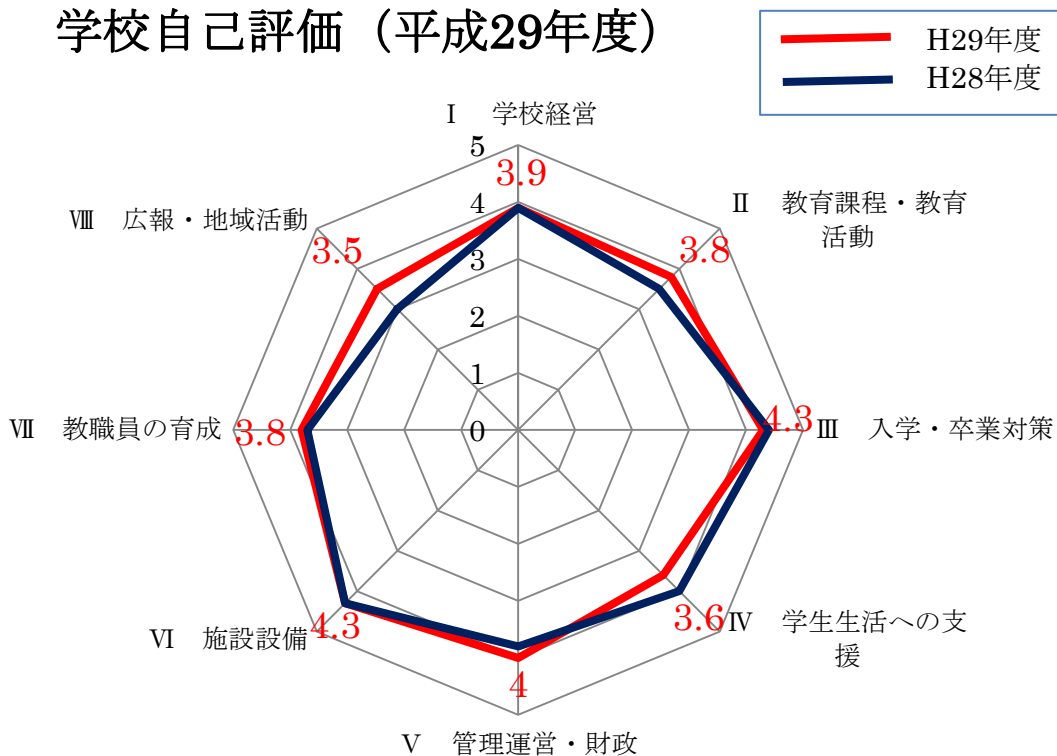
自己点検・自己評価は、本校で作成した「自己評価運用の手引き」に基づき、スケジュールに沿って教職員全員で行い、年度末に学校自己評価委員会で統合し、結果をまとめています。

下記に平成29年度と28年度の各内容における評価平均点を示し、年度比較が見えるようレーダーチャートで表示しています。

平成29年度 評価結果

	内容	評価項目数	H29年度	H28年度
I	学校経営	7	3.9	3.9
II	教育課程・教育活動	12	3.8	3.5
III	入学・卒業対策	6	4.3	4.4
IV	学生生活への支援	4	3.6	4.0
V	管理運営・財政	4	4.0	3.8
VI	施設設備	4	4.3	4.3
VII	教職員の育成	6	3.8	3.7
VIII	広報・地域活動	2	3.5	3.0
	総平均	45	3.9	3.8

学校自己評価（平成29年度）



2 課題

平成29年度を28年度と比較すると、全体の総平均点が0.1ポイント上がっています。評価点の下がった内容は「III入学・卒業対策」と「IV学生生活への支援」ですが、あとの内容は同点もしくは上がっていました。

前年度に課題として挙げていた「II教育課程・教育活動」と「VIII広報・地域活動」の2つの内容については評価点がいずれも上がっており、強化目標として取り組んだ結果と言えます。

今年度は、さらに教育の質を上げるよう「II教育課程・教育活動」と「IV学生生活への支援」の内容を強化目標とし、評価項目の中で評価点の低い項目に焦点を当て課題を挙げ活動していきます。

毎年、自己点検・自己評価を行うことで、学校のいま課題とすべきことが明らかになります。前年度の評価結果をもとに、各課程や担当する委員会を中心に課題となることを目標に挙げ、学校全体で学校運営、教育の充実に努めていきます。

平成30年5月10日